

# 人形浄瑠璃

# 東郷文弥節

源氏烏帽子折二段目 『常盤御前雪の段』



令和5年

# 11/26日

# 弥節

受付	10時10分
開演	10時40分
終演	11時20分

## 東郷公民館ホール

入場料一般8500円  
後援会会員8無料

主催：東郷文弥節人形浄瑠璃保存会

後援：東郷文弥節人形浄瑠璃後援会 / 薩摩川内市 / 薩摩川内市教育委員会 / 薩摩川内市商工会 / 薩摩川内市観光物産協会 / 薩摩川内市文化協会 / 南日本新聞 / 南日本放送 / 川内東郷販売所

連絡先：東郷文弥節人形浄瑠璃後援会 (東郷公民館内) ☎0996-42-0864

# 東郷文弥節 人形浄瑠璃

解説

源氏烏帽子折二一段目

『常盤御前雪の段』

平清盛はあらためて源氏残党や常盤親子を召し捕るようにきびしく命じます。

時は正月、雪の降りしきる寒い夜、常盤御前は幼い今若・乙若・牛若の三人を連れて伏見へ落ちのびる途中、道に迷い近くの家に一夜の宿をこうた。ところがそこは、はからずも平家方の武将弥平兵衛宗清の館であった。常盤御前は「子供たちを連れて困ってます。今夜一晩泊めて下さい。」と頼みますが、奥から出てきたのは源氏方の侍、盛長の妹で今は宗清のかくれ妻になっている白妙でした。白妙は宗清を気づかい常盤御前に「早く逃げてください」と言いますが寒さと疲れのために常盤はとうとう倒れてしまいます。子供たちは精一杯介抱し、常盤が漸く頭をあげた時、宗清が帰ってきます。宗清は常盤親子であると気付き、「雀がいるから追い払え」と白妙に言いますが白妙はききません。宗清は弓矢を取り空に向け空矢を放つと、常盤親子はそれに驚き、雪の中を逃げていきます。しばらくして、白妙の兄盛長は、妹の白妙を殺し宗清と勝負を決しようと宗清の館を尋ねて行きますが、途中で宗清が常盤親子を捕らえずに逃がしてやっただと聞き、喜んでお礼を言い東方へ落ちていくという人情豊かな物語です。

